

中国建築設計研究院發展の成果紹介

二〇一四年十月二十八日

1

2014年10月

紹介内容 CONTENTS



1. 企業發展の近年の成果

2. 企業中日協力の近年の成果

3. 企業今後の發展構想

Chapter

1



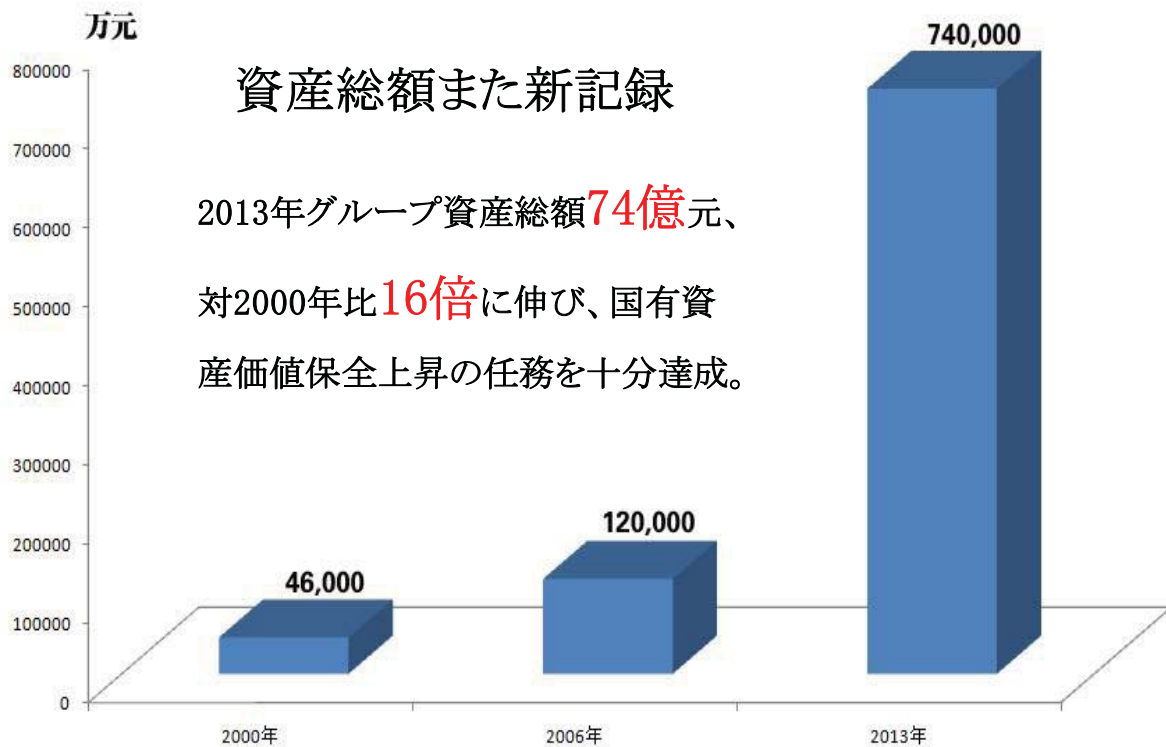
企業発展の近年の成果

- 経済効果新記録達成
- 中国建設科技グループ設立

発展の主な成果



■ 発展の主な成果



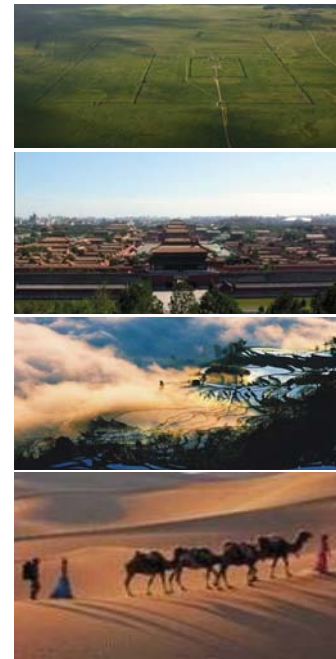
■ 発展の主な成果

- 国際化戦略を推進し、シンガポールCPGグループの買収に成功、中国ハイエンドサービス業と中国測量設計業界における初の海外M&A達成
- 国際化市場展開ほぼ形成：
 - 東南アジア市場展開、ひな型備わる
 - 南米市場開拓、初の効果あらわる
 - 欧州市場進出、突破口開く
- 三重の国際化拠点を構築（海外企業管理の著しい成果）
 - 国際化業務開拓の拠点
 - 国際化資金運用の拠点
 - 国際化人材育成の拠点



人類文明を守る、文化遺産申請多数成功

- 2012中国十大文化ニュースのうち3つ、莫言ノーベル文学賞と肩並べる
 - 「元上都遺跡」世界遺産登録に成功
 - 故宮保護基本計画を作成
 - 『中国世界文化遺産暫定リスト』再設定
- 「紅河ハニ棚田郡の文化的景観」世界遺産登録成功
 - 中国初の農業遺産、1300年の高山稲作文化
- 中国・カザフ・キルギス共同申請シルクロード登録成功
 - 「シルクロード」初の世界遺産登録
 - 規模最大、内容最も豊富な文化 ルート 遺産
 - 中国初の多国籍共同申請の世界遺産
 - 中国文明文化史上最も国際的影響力をもつ



グループ企業設立

- 中国建設科技集团股份有限公司 2014年 6月30日設立。
中国建築設計研究院が発起、国務院が承認。

国务院国有资产监督管理委员会

国资产发〔2014〕451号

关于设立中国建设科技集团
股份有限公司的批复

中国建筑设计研究院：

你公司《关于整体改制设立中国建设科技集团股份有限公司的请示》(中设研〔2014〕179号)收悉。经研究，现批复如下：

一、同意你公司联合中国电力建设集团有限公司、中国能源建设集团有限公司及北京航天产业投资基金(有限合伙)共同发起设立中国建设科技集团股份有限公司(以下简称股份公司)。

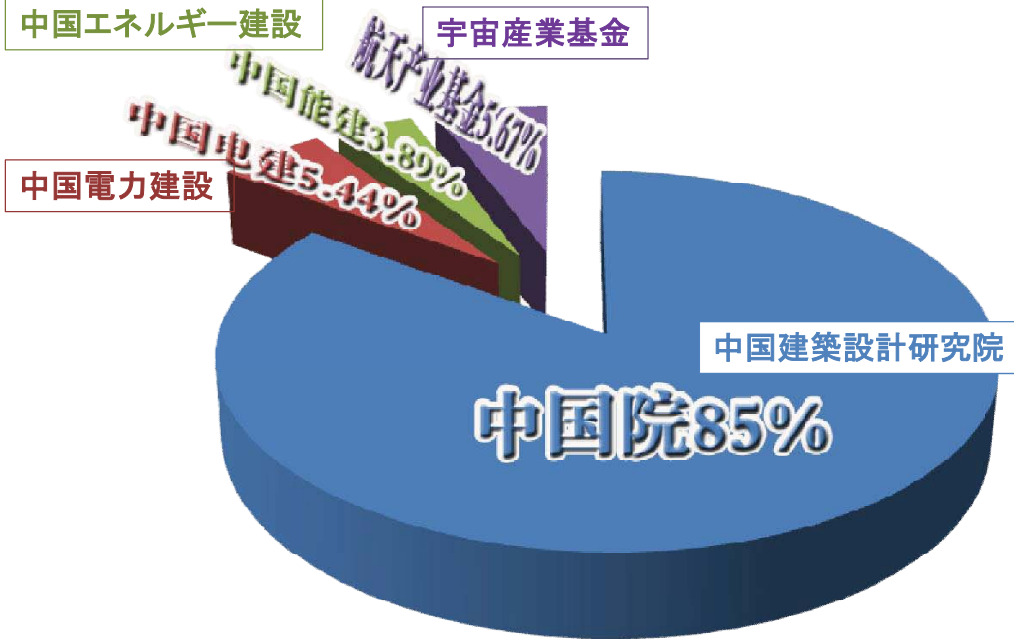
二、股份公司总股本27.08亿股，每股面值1元。其中：你公司持有230,180万股，中国电力建设集团有限公司持有14,732万股，中国能源建设集团有限公司持有10,534万股，北京航天产业投资基金(有限合伙)持有15,354万股，分别占总股本的85.00%、5.44%、3.89%和5.67%。

三、原则同意《中国建设科技集团股份有限公司章程(草案)》。

四、请及时召开股份公司创立大会，办理工商登记手续，并将



グループ企業設立



中国建設科技集团股份有限公司の登録資本 27.08億元
中国院の基幹企業・資質・主業務の全てを注入、持株 85%

9

グループ企業設立

主な子会社 (13社)

- 中国建築設計院有限公司 (前身は建設部設計院、中国建築技術研究院)
- 新加坡CPG集団 (前身はシンガポール政府公共事業局)
- 中国市政工程華北設計研究総院有限公司 (前身は天津市建築設計公司)
- 中国城市建設研究院有限公司 (前身は建設部都市建設所)
- 深圳華森建築与工程設計顧問有限公司 (最初の中外合弁建築設計企業)
- 中国建築標準設計研究院有限公司 (前身は建設部標準所)
- 中国建築設計咨询公司
- 中旭建築設計有限責任公司
- 上海中森建築与工程設計顧問有限公司
- 城鎮規画設計研究院有限公司 (前身は農村建物調査研究組)
- 北京築邦建築裝飾工程有限公司
- 亜太建設科技信息研究院有限公司 (前身は建工部技術情報局)
- 中設投資有限公司

* 現企業名は中国名称を日本漢字で表記。

10

従業員総数**8400**余名：

うち外国人**2200**余名、総数の**26.2%**

24の国と地域から

シンガポール、インド、マレーシア、フィリピン、ミャンマー、ベトナム、
インドネシア、バングラデシュ、アメリカ、オーストラリア、オーストリア、
イギリス、カナダ、フランス、ドイツ、ギリシャ、日本、ハンガリー、モル
ジブ、ニュージーランド、スペイン、スリランカ、スウェーデン、タイ

技術系従業員は総数の**90%**以上

11



企業中日協力の近年の成果

- 中日建築耐震技術者養成 PJ
- 中日百年住宅モデル PJ
- 日建設計との戦略的協力協定

中日建築耐震技術者養成 PJ を見事に遂行

- 2009年5月12日、住宅・都市農村建設部は日本国際協力機構（JICA、日本外務省直属の政府機構）と北京にてPJ協定に調印、グループ所属の標準院がPJ実施を担当、期間4年、2013年5月31日終了した。
- 31の省・市から計13組305名の訪日研修生（もとの計画150人）
- 国内養成クラス計52期、専門スタッフ10704名を養成（もとの計画5000人）
- 中方投資980万人民元
- 日方投資715万人民元
- 『建築耐震設計・補強鑑定』編集発行、養成教材6500冊



13

中日建築耐震技術者養成 PJ

- 受講者は、中国建築耐震分野の技術者と地方政府の管理職
- 内容は、建築耐震行政管理、建築耐震設計・補強鑑定と免震制震技術、都市総合防災計画、歴史建築保護、施工品質管理など多くの専門分野
- 実用技術を中心に、建設事業の準備期から完成まで各段階をカバー、マクロ管理意思決定と応用技術の2大カテゴリーを含む。

中日「建築耐震技術者養成PJ」成果報告会
2013年5月6日 北京



中国の建築耐震技術と都市総合防災力を高めるうえで大きな意義をもつ



14

中日百年住宅モデルPJにより、新時代中国の建築産業化の道を探る

- 2012年5月18日、中国不動産業協会と日中建築住宅産業協議会は『中日住宅モデルPJ建設協力趣意書』に署名
- 中国建築設計研究院所属の標準院に、モデルPJの準備・管理および技術開発設計の実施作業を委託した。
- 不動産トップブランドのリーディングカンパニー上海緑地、江蘇新城、大連億達、浙江宝業に、共に今回のPJ実施主体になることを委託した。



15

■ 中日百年住宅モデルPJ



上海緑地威廉公館PJはほぼ完成

新城帝景PJは試験モデルルーム施工段階

大連億達PJはプラン調整と掘下げ段階

- 住宅耐用期間全体の基本計画・部品製作・施工建設・保守更新・再生改造の全過程をシステム手法で総合的に考慮
- 技術システム：建設産業化・建築耐久化・品質優良化・エコ低CO₂で、中国の新しいサステナブル住宅を造り出す
- 設計標準化、部品工場化、建設組立化、使用汎用化



中国住宅産業の転換と高度化を推進し、住宅建設の総合価値を高める

16

日建設計グループと戦略的協力協定を締結

2013年10月25日、日建設計グループと戦略的全面協力協定を締結

- ・ 都市開発
- ・ 建築設計
- ・ 環境技術
- ・ 監理技術
- ・ 中日協力科学研究課題等



中国建築設計研究院が地下空間利用、アーバンコンプレックス設計、都市計画など多分野を開拓するうえで先導的役割をもつ。

Chapter

3



企業今後の発展構想

- 戦略的目標
- 戦略的手法

企業ビジョンと発展目標

企業ビジョン

国際競争力ある世界一流の設計企業になる

- 実力を高め、世界の同種企業の前列に入る
- 中国ハイエンドサービス業で最も実力ある世界ブランドになる
- 建設コンサル業で最も影響力ある国際ブランドになる

発展目標

業界で最も素晴らしい企業になる

- 成長の質が最も良く
- 技術力が最も高く
- 人材の質が最も優れ
- 幸福指数が最も高い

19

目標実現の方法

企業化

市場化

国際化

株式化

20

ありがとうございました